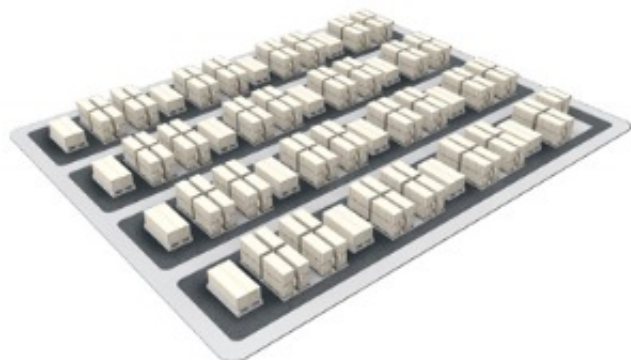

日本ガイシ、電力系統向け大容量NAS電池を受注

Edited By LogisticsToday On 2015/06/22



日本ガイシは22日、三菱電機から九州電力豊前発電所構内に設置される電力貯蔵用NAS電池を受注した、と発表した。

受注した蓄電池は新たに開発したコンテナ型NAS電池を用いる。出力5万キロワット、定格容量30万キロワット時程度で、一般家庭3万戸分の一日の電力使用量に相当する。

今年度中に運転を開始する見通しで、完成すると世界最大級の蓄電池設備となる。九州電力はNAS電池を電力系統に接続し、揚水発電と同などの電力貯蔵機能を活用した需給バランスの改善による再生可能エネルギーの円滑な接続と、蓄電池を活用した系統電圧制御への適用実証を行う。

コンテナ型NAS電池は、20フィートコンテナ内に出力200キロワットのNAS電池と制御装置類を組み込んだ可搬型の蓄電池で、従来に比べ設置期間の短縮や工事費用の大幅削減が図れるほか、用途に応じた容量で設置できる。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/169704>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.